



あなたと議会をむすぶ  
GIKAI. MAGAZINE

こんにちは  
議会です

DECEMBER・10・2003  
No. 77  
**かんだ**

KANDA TOWN



うまく廻るかな

育成会による「子どもフェスティバル」

## 9月定例会

委員会報告	P 6 ~ 8
一般質問5人登壇	P 9 ~ 13
カメラ見て歩き	P 14 ~ 15



# 臨時議会開会（十月二十一日～二十三日）

改選後の初議会が開かれ、正副議長選挙、3常任委員会委員、議会運営委員会などの選任が行われ、議会選出の監査委員の同意や特別委員会の設置、その他の議員選挙が行われた。

# りをめざして 構成きまる

議長に珠久六夫氏



副議長に光永信雄氏



## 議長就任の挨拶

珠久六夫

9月末の議会改選を受け、去る10月21日に行われた臨時議会の議長選挙において、図らずも不肖私をご推薦頂き、更には過半数の議員各位のご推挙により歴史と伝統ある本町議会の議長に就任をさせて頂き、誠に恐悦の極みであり責務の重さを厳粛に受け止めています。私どもが付託をされました向こう4年間は、本町の21世紀を左右するといっても過言ではない大きな問題が山積みをしています。

その一つに合併問題があります。本件は既に解決済みとお考えの方も居られるかも知れませんが未解決であり、平成17年3月末までには本町としての最終決定をしなければなりません。又、17年10月に開港予定の新北九州空港に向けた諸問題の解決、更には戦後処理問題である化学弾処理等々、苅田町にとって21世紀の半世紀つまり50年、いや21世紀総てにも及ぶ大事なスタートの時となる4年間でもあります。従ってこうした課題解決に向け21世紀と言っ新しい時代が要請する議会の活性化とレベルアップに全力を傾注し、議会と執行部のあり方については私ども議会の先人達が嘗々と築かれた「車の両輪」の精神を堅持すると共にけじめと緊張感をもって事に当たる所存です。今後とも町民の皆様方の一層のご支援を心からお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。



# 活力ある町づく 新しい議会

## 総務常任委員会

委員長 三原 茂  
副委員長 梶原 弘子  
委員 光永 信雄  
" 長井 孝篤  
" 作本 文男  
" 常廣 直行

所管 町長公室、総務課、  
企画課、財政課、税務  
課、会計課、消防本部、  
監査事務局、人権推進  
課、議会事務局

他の委員会の所管に属  
さない事項

## 産業建設常任委員会

委員長 武内 幸次郎  
副委員長 林 繁実  
委員 沖永 春生  
" 野本 正樹  
" 井上 修  
" 白石 壽幸

所管 都市整備課、施設建  
設課、下水道課、農政  
課、水道局

## 厚生文教常任委員会

委員長 川上 公美子  
副委員長 富安 正直  
委員 松蔭 日出美  
" 坂本 東二郎  
" 小山 信美

所管 住民課、健康福祉課、  
環境保全課、教育委員  
会

## 議会運営委員会

委員長 作本文男  
副委員長 野本 正樹  
委員 長井 孝篤  
" 川上 公美子  
" 坂本 東二郎  
" 武内 幸次郎

## 下水道対策特別委員会

委員長 野本 正樹  
副委員長 松蔭 日出美  
委員 沖永 春生  
" 川上 公美子  
" 武内 幸次郎  
" 林 繁実  
" 白石 壽幸  
" 常廣 直行

## 空港対策特別委員会

委員長 長井 孝篤  
副委員長 井上 修  
委員 梶原 弘子  
" 坂本 東二郎  
" 作本文男  
" 三原 茂  
" 富安 正直  
" 小山 信美

## 議会広報特別委員会

委員長 光永 信雄  
副委員長 富安 正直  
委員 梶原 弘子  
" 作本文男  
" 井上 修  
" 三原 茂  
" 小山 信美

## 一部事務組合議会議員

京築広域市町村圏  
事務組合議員  
珠久 六夫  
三原 茂  
梶原 弘子

## 京築地区水道企業団議員

珠久 六夫

## 監査委員に 沖永春生氏を 選任同意

監査委員2名のうち1人は、議会議員から選出するので議会の同意を得て町長が任命することになります。

# 議員紹介

(議席順)

議員の会派、抱負、趣味について紹介します。

# 新たな決意をこめて 語る!



小山信美 (46歳 1期)

会派 公明党

(抱負)

安心して暮らせる明るく魅力あふれる町づくりの為、「一人の声を大切に」どこまでも町民の目線で取り組み、現場第一主義をモットーに皆様の代弁者として全力で頑張っております。

(趣味)

バドミントン、音楽鑑賞、手芸



常廣直行 (48歳 1期)

会派 第2ニューフォーラム

(抱負)

地方行政がますます重要になってきた時代です。新しい感覚と民間企業で培ったノウハウを活かしながら、未来永劫に魅力ある苅田町を創造していく為に、全力で頑張っていく所存です。

(趣味)

近場の山登り



白石壽幸 (62歳 1期)

会派 第1ニューフォーラム

(抱負)

苅田町は新空港を核として一大飛躍しようとしています。この時期に地方分権の理念にそって町民一人一人の声を大切に、将来を見据えた「まちづくり」に頑張ってお参りたいと思う。

(趣味)

ゴルフ



富安正直 (34歳 2期)

会派 第1ニューフォーラム

(抱負)

地方行政は、全国横並びから、自治体間で競争する時代になった。町民の皆様の明るい豊かな未来のため、又、この競争に勝ち残るために必要な戦略、戦術を議会の場で提言していきたい。

(趣味)

ゴルフ、スキー、書道



三原茂 (42歳 2期)

会派 みらい21

(抱負)

町民の皆様の視点に立ち、苅田町の古い政治の流れを変え、皆様から信頼される行政を実現する為様々な改革を実行し、日本一誇れる町に出来るよう全力で取り組んでいきます。

(趣味)

映画鑑賞、スポーツ、人との出会い



林繁実 (53歳 2期)

会派 無党派

(抱負)

行政面では、「意識改革」財政面では、「企業経営方式の導入」を継続し、将来の苅田町のあるべき姿を展望し、町民の皆さんと共に諸課題の検討に取り組みたい。

(趣味)

読書、美術鑑賞



井上修 (55歳 2期)

会派 第2ニューフォーラム

(抱負)

地方分権の時代、今日の経済不況が続く中、苅田町の独自政策を求める町民の声に、一年四年間の経験を活かして、誠実、公正をモットーに「新世紀」の街づくりを、初心に返り全力を傾注して行く所存です。

(趣味)

スポーツ観賞、旅行、カラオケ



武内幸次郎 (52歳 3期)

会派 みらい21

(抱負)

自己決定、自己責任が問われる今日、行政能力の向上や効率的な行政運営がさらに求められる。当然ながら議会や議員の果たす役割も増加する。その責任を果たすべく議員の一人として頑張ってお参りたい。

(趣味)

旅行、カラオケ



光永 信雄 (67歳 5期)

(抱負) このたび皆様のご支援を頂きまして、歴史と伝統ある議会の副議長を拝命し、その責務の重大さを痛感しております。これからの4年間は大変重要な時期を迎えます。「信頼感を深め」住みよい町づくりを全力を尽くします。

(会派) ウィンド21  
(抱負)

町政の主役は町民です。議員は町民全体の代表であり、一部の人や団体の代弁者ではない。情報公開を進め、行財政改革を断行しムダのないスリムな町政を行い教育福祉の充実に向けた街づくりを目指す。

(趣味) 読書、楽器(フルート)



坂本 東二郎 (55歳 3期)

(会派) 第二ニューフォーラム  
(抱負) 3期目の当選を期に新ためて初心に帰り、町民の想いと願いを町政に反映すべく頑張ってください。

(趣味) 旅行、読書



梶原 弘子 (56歳 3期)

(会派) 日本共産党  
(抱負)

住民こそ主人公、すんでよかつたと言える町作りを望む。子育てしやすい町、高齢者も出番がある町、身体に障害があっても安心して住める町、特色ある町作りを皆で勤めたい。

(趣味) 野草観察、読書、料理



川上 公美子 (58歳 3期)

(会派) 日本共産党  
(抱負) 小泉政権の「構造改革」で、弱者いじめがすすめられています。効率、効果優先でなく高齢者や障害者、女性や子どもが大切にされる町政実現のため、力を合わせましょう。

(趣味) 読書、コーラス



長井 孝篤 (73歳 3期)

(会派) 第一ニューフォーラム  
(抱負)

合併問題、新空港完成と町づくりなど、苅田町の将来はこの4、5年の町政の舵取り次第で決まるとの認識の元、方向を間違えないよう執行部とも協力して、先導的役割を果たしていきたい。

(趣味) 音楽鑑賞、囲碁



野本 正樹 (54歳 4期)

(会派) 公明党  
(抱負) 皆様の暖かいご支援で今回、公明党から2名の候補が当選する事が出来ました。12年振りの事で町民の方には大変お世話になりました。今後とも皆様の声を町政に反映して参る所存であります。

(趣味) ボウリング、ドライブ、彫刻、旅行



松蔭 日出美 (62歳 4期)

(会派) ウィンド21  
(抱負)

これからも、初心の気持ちを忘れず福祉を中心に、弱者の人達のために働いていきます。

(趣味) テレビ、ラジオなど人の話を聴くこと



沖永 春生 (62歳 7期)

(会派) 無党派  
(抱負) 今日まで、議長として公正、公平な議会運営に努めてまいりました。4年間大変お世話になりました。今後もお礼申し上げます。今後も町民の皆様と共に町政発展のため初心に帰り頑張ってください。

(趣味) ゴルフ

珠久 六夫 (59歳 5期)  
(趣味) ドライブ、スポーツ(ゴルフ、野球)



# 委員会報告

## 臨時議会

産業建設常任委員会

委員長 武内幸次郎

### 工事請負契約の締結

Q 苅田臨空産業団地造成事業に係る苅田町大字苅田地内における、苅田臨空産業団地造成（F街区）工事を施行するものである。

A 指名前に業者10社が決まっていたのか。また、入札前に落札業者が決まっていたのか。

Q そのいうことはありえない。

A 業者名が洩れているのではないか。

Q 職員等から業者名が洩れるということは考えられないし、そのような事実はないと思っている。

A 選定基準に問題があるのではないか。

Q この工事は今日まで排水工事等を行ってきたが、軟弱地盤であり技術的なことも考慮した上業者選定を行った。

### 工事請負契約の締結

Q 公共下水道事業に係る苅田町尾倉二丁目地内における、尾倉地区汚水管渠築造工事を施行するものである。

A この程度の工事なのにスーパーゼネコンに発注をするのか。また、地場産業育成の観点から考えていくべきではないか。

Q 今後、地場産業育成及び選定基準が分かりやすいような形を検討する。

### 財産の取得について

Q 緑地保全を図る目的のため、苅田町大字二崎地内における有限会社エス・シー・デイ所有の二先山用地を取得するものである。

### 意見書案

「政党助成制度（政党交付金）の廃止を求める意見書」

否決

「教育基本法の見直しについての意見書」

否決

### 助役の就任

新しい助役に梅谷威氏（たけし）が選任されました。



（職歴）

昭和40年5月、福岡県に奉職、農政部農業技術課長、筑後農林事務所長などを歴任。

二先山全景



# 委員会報告

総務常任委員会

委員長 本文 男



**Q** 消防費の備品購入費の減額理由は何か。

**A** 消防ポンプ自動車と高規格救急自動車の在庫補助申請を行ったが、消防ポンプ車については補助金が付かず、減額補正を行った。

付託案件  
補正予算 一件  
慎重審議の結果、議案を可決した。

議案と主な質疑

一般会計補正予算

付託案件

産業建設常任委員会

委員長 武内 幸次郎

委員 幸次郎

## 9月定例会は8月24日から9月11日まで開催

# 条例、補正予算、決算の認定など25件可決

付託案件  
条例 一件  
町道路線の廃止 一件  
町道路線の認定 一件  
補正予算 三件  
慎重審議の結果、全議案を可決した。

議案と主な質疑

町営住宅管理条例の一部改正

町営住宅の入居者の資格に町内在住、在職の最低期間を設けるとともに、水道及び下水道使用料について滞納のないこと、及び連帯保証人の条件を設定するための改正である。

**Q** 3ヶ月以上在任又は6ヶ月以上在職していると改めた根拠は。

**A** 選挙権を与える基準も3ヶ月であり、参考にした。6ヶ月の在職期間については、試用期間などを考慮し、6ヶ月以上あれば一定

の収入が得られると思いい設定した。

**Q** 連帯保証人の条件として近隣市町村に居住とあるが、どの範囲を考えているのか。

**A** 北九州市及び2市2郡を考えている。

一般会計補正予算

**Q** 御堂筋パレードの中身は。

**A** 21世紀協会で御堂筋を3.3kmのパレードに全国の郷土芸能の参加を願い21回目を迎える。今回、苅田山笠に参加依頼があり、保存振興会より参加することになった。

**Q** 公有財産として9,000万円で二先山用地を購入するが、面積と今後の計画は。

**A** 面積は32万4,506㎡であり、具体的な計画は行っていないが、自然公園や水源確保のための用地、また緑地帯の整備を行うなどの検討をしている。

厚生文教常任委員会

委員長 坂本 東二郎

付託案件

条例 三件  
補正予算 三件  
慎重審議の結果、全議案を可決した。

議案と主な質疑

苅田町立小中学校教育問題審議会条例の制定

教育委員会の諮問に応じて、苅田町における学校教育のあり方及び学校教育行政の総合的な施策の研究、検討を行うため、審議会を設置することに関し必要な事項を定めるものである。

**Q** 審議会の役割と権限は。

**A** 教育の充実を総合的、専門的に研究し、諮問に対して答申を行う機関である。

**Q** 委員に現場の教師は入るのか。

**A** 学校長等の中で対応していく。

乳幼児医療費の支給に関する条例の一部改正

福岡県の乳幼児医療費支給制度における対象年齢が、入院に係る医療のみ現行の三歳未満から就学前に引き上げることとされたことに伴い、改正するものである。

**Q** 0歳児から3歳未満児の人数は。

**A** 1,143人である。

# 委員会報告

平成14年度決算特別委員会

委員長 田崎俊夫

付託案件

平成14年度一般会計決算の認定ほか13件で、慎重審議の結果、全議案を承認した。

## 主な質議

### 一般会計決算

**Q** 税等の滞納対策は、徴収体制の強化、徴収率を上げることが第2次行政改革の目玉にする。

**A** 現時点では考えていないが将来的には考えていく。

**Q** 先の降雨による災害の原因究明の現状と地元説明の時期は。

**A** 県土木事務所と協議を行っている。関係等を調査中であり、地元説明は原因がわかり次第速やかに行う。

**Q** 第2次行政改革での財政健全化の一環として税収を増やすため新税の導入とあるが具体的には何か。

**A** 現時点では具体的な検討はしていないが、何をどうするかこれから検討する。

介護保険特別会計決算

**Q** 保険料の見直しは、3年に1回の保険料の見直しは町民も参加している。高齢者対策審議会で検討している。

**A** 貸付金の増額はできないのか。

**Q** 荻田町は他の自治体より高いので増額は難しい。

### 奨学金貸付金特別会計決算

**Q** 学校給食事業特別会計決算

**Q** 給食事業は100%民営化しないとしているが。

### 学校給食事業特別会計決算

**A** 学校給食法などで完全民営化できないが、実質的に民営化に近い方向を考えている。



## 平成14年度会計決算額

(単位：円)

会計別	歳入	歳出	歳入歳出 差引額	翌年度 繰越財源	実質 収支額	
一般会計	11,549,384,663	10,419,663,286	1,129,721,377	145,940,000	983,781,377	
特別会計	国民健康保険	2,391,196,360	2,400,989,598	9,793,238	0	9,793,238
	老人保健	3,055,735,985	3,085,003,054	29,267,069	0	29,267,069
	介護保険	1,417,603,540	1,416,798,548	804,992	0	804,992
	土地区画整理事業	86,170,353	86,170,353	0	0	0
	奨学金貸付金	28,434,216	21,108,980	7,325,236	0	7,325,236
	学校給食事業	262,293,350	262,293,350	0	0	0
	住宅新築資金等	32,648,018	32,648,018	0	0	0
	霊園事業	6,451,900	6,395,513	56,387	0	56,387
	公共下水道事業	1,638,359,359	1,608,659,359	29,700,000	29,700,000	0
	荻田臨空産業団地開発事業	395,162,664	395,122,664	40,000	0	40,000
	農業集落排水事業	53,716,751	53,716,751	0	0	0
	京都郡公平委員会	617,873	544,840	73,033	0	73,033
	計	9,368,390,369	9,369,451,028	1,060,659	29,700,000	30,760,659
合計	20,917,775,032	19,789,114,314	1,128,660,718	175,640,000	953,020,718	

# 一般質問

# Q & A

9月定例会の一般質問は5人が登壇しました

潮下 洋子議員



- 一、行政改革の取り組みについて
- 二、町長の選挙公約について
- 三、商店街の活性化について
- 四、高齢者対策について
- 五、パンジープラザの運営について

松蔭 日出美議員



- 一、福祉行政について

梶原 弘子議員



- 一、第二次行政改革について
- 二、住民基本台帳について
- 三、苅田町の災害対策の基本姿勢について

川上 公美子議員



- 一、町民本意の行政改革になっっているか
- 二、安心できる町づくりを

作本文 男議員



- 一、規制緩和について
- 二、第二次行政改革について
- 三、空港を活かした町づくり

作本議員の一般質問については原稿提出を辞退する申し出があったので、質疑応答の内容は割愛し質疑項目のみ掲載しました。

## Q 給食センターの民営化はするのか

A そのような考え方はもってない

行政改革について

Q 病は食からといわれる時代、給食センターの調理部門は民営化するのが、

A 合理化は進めてきたが、民間委託をする考えは持っていない。

Q 今、市町村では廃止する傾向にある敬老祝金の見直しについて問う。

A 高齢者の増加に伴い予算も年々増加し、15年度は2,000万円を超えている。現在の形で良いかどうか検討したい。

町長の選挙公約について

Q 児童福祉政策の取り組みは。

A 子育て支援センターはパングーの中に保育士3名をおいて育児相談をしている。特色ある総合的な少子化対



学校給食センター

策を検討しており、その中で育児ボランティア制度について検討していく。

Q 教育行政の中で、子供達が期待している町民プールの建設は。

A 老朽化も進み、町民の生涯スポーツ活動も多様化し、そのニーズに応えるため実際に努力する。

商店街の活性化について

Q シャッター通りといわれる商店街の空き店舗の利用法はいろいろある。マルシヨク附近は、車の利用の少ないお年寄りが多く、年金介護保険等の相談窓口として、ボランティアの活動の場等、行政サービスに利用したらどうか。

A (株)ピュアタウン苅田で事業計画をつくり現在活性化に向けて努力している。空き店舗の活用も現在ない業種を呼んでくるとか、ギャラリー、休憩スペースとして使うとか、交流スポットとして使う計画をもっている。

## 潮下 洋子議員

高齢化対策について

Q 痴呆の予防対策について問う。

A 具体的な事業はないが、脳血管性疾患を予防するための予防教室、閉じこもり防止のための事業をしている。

Q 宅老所、よってけばあ」の次はどこかにつくる計画があるのか。

A 今、白川の方にグループホームの建設があり、ワンユニットで9月から10月に完成する予定である。



グループホーム「おひさまの家」

一般質問

# Q 緊急時に対応する町営住宅の運用を優しく思いやりのある制度に変えてはどうか

A 検討してみたい

松蔭 日出美 議員

**Q** 82歳になるおばあちゃん  
が火事で家を失い、城南に  
ある緊急時の住宅を町にお  
願いをして入居している。  
この住宅は、3ヶ月で家を見  
つけて出ていくという内  
規になっている。3ヶ月た  
つてもなかなか家が見つ  
からず、相談を受けた。早速  
建設課長にあつて相談をし  
たところ、内規では3ヶ月  
となっているが、後3ヶ月  
は入居可能であり現在対応  
をしてきているが、この  
内規の見直しをすべきだ。

**A** 苅田町町営住宅管理条  
例では、町のいろんな施  
策については思いやりが  
必要である。基本的に見  
直してはどうかという指  
摘なので、検討してみ  
たいと思う。

**Q** 今に始まったことでは  
ないが、町営住宅の状況は順  
番待ちで、皆が皆入れる状  
態ではない。町長が言われ  
たように町営住宅の立て替  
はいつ頃になるのか。

**A** 平成16年度から設計には  
いり、早急に住宅建設に着  
手したい。指摘の通り高齢  
者に配慮した住宅も考  
えていきたい。



老朽化が進む町営住宅

**Q** 16年からの設計とはど  
の地域を指しているのか。

**A** 城南地区に2棟ほど建設  
の予定。

**Q** 2棟というのは戸数で  
いう。

**A** A棟が30戸程度、B棟が  
30戸程度、計60戸を考  
えている。

**Q** 障害者対策は考  
えているのか。

**A** A棟については一般者  
向け、B棟については高  
齢者、障害者向けを含  
めて検討していきたい。

**Q** 障害者対策、バ  
リアフリー対策をしつ  
かり設計の中に入れ  
早急に作るべきだ。

次に福祉バスについて、  
障害者5団体が2月に15  
項目、町長との懇談会を  
申し入れた。その一項目  
に福祉バスに音声（到着・  
発着時）をつけるように  
要望したが、未だにつ  
いていない。

**A** 現在、見積もりをとり  
早急に活用していき  
けるよう心がけてい  
きたい。

**Q** 福祉バスは老朽化  
しており、そういった  
バスを一日車検で安  
全は大丈夫か。

**A** 走行上支障ない範  
囲での修理はでき  
ていると思う



利用される福祉バス

**Q** 最後にかんだ号の  
一号車は特殊車で車  
いすが4台乗れる。  
町がいらなくな  
ったらせひ声を  
かけてほしいと、  
福祉課長に何回  
も声をかけてい  
たが聞くと、こ  
ろによると、東  
南アジアの方で  
運行されている  
こと。車があれ  
ば苅田町身体障  
害者福祉会は大  
変助かっていた  
が優しさがない  
と思える。

## Q 国保の減免と障害手当制度の措置を

A 総合的な低所得者対策を考える

- Q 国保税への国の補助金50%だったのが、36%へ。町長会は元に戻すよう申し入れなどはしていないのか。
- A 国の予算では軍事費世界第2位、戦争からは何も生まれない。国民を守る立場に立って発言を。
- Q 言う機会はないが、議員さん達と頑張っていきたい。
- A 一九四七年から、義務教育は無償となっているが、そのとおりやられているか。
- A なっている。
- Q 憲法にのつとれば全員無償のはずだが、苅田町ではなっていない。憲法にそつた運動こそやるべきだ。
- A 教科書は無料だが学級運営費、修学旅行費、社会見学費など徴収している。
- Q アトピーの子ども対策として調査はと、以前質問した
- A たが、国・県などの指導が無いと答弁。国が調査をと新聞報道であったが町はどのようにするのか。
- A まだ調査は来ていない。
- Q 教育基本法八条に政治的教養を尊重するとなっているが六月議会で、小中学生の議会傍聴を提案したがどのようにになったか。
- A 年度当初に計画すれば可能。
- Q 年間通して平和教育をふんだんに行っている。
- A 学校教育としての給食、地場産業問題のとりくみは。
- Q 食育教育実践で地元の産物を使い、調理実習を見学生徒約八〇〇人を対象にして行う。

## 梶原 弘子議員

子育てしやすい町に

- Q 少子化対策として、生み育てやすい町づくりを願う子どもの数に応じて家族制度手当は設けられないか。
- A 共働きでゼロ歳から安心して預けられる制度、保育士の資格者が家庭で保育する制度はとれないか。
- A さらに工業の町として夜勤者が多い。雨の日など、季節の厳しい時には外で遊べない。夫の安眠、子どものことを考え、施設を作る訳にはいかないか。
- A 子育て支援の充実をはかる。
- 入札制度の改善を
- Q 物件によって一般競争入札を取り組み、郵送、メール、最低制限価格を設けて

事前公表など、方法はいくらでもあるが。

- A 第2次行政改革の中で検討する。

住民票の閲覧

- Q 自衛隊に住民票の閲覧をさせるべきではない。法的に問題ないのか。日本は軍隊をもたないと法律で決まっている。安易に見せるべきではない。
- A 閲覧は誰でもできる。それに基ついてやっている。

災害のない町を

- Q 災害の少ない町だが、生活環境の変化や新しい道路が出来たことで、水没などの被害が出ている。町内の総点検をしてほしい。

- A 再発防止に向けての総点検を今後やっていかなければならない。



そば打ち体験

## Q 町民に必要な苅田駅周辺整備を

### A 町の発展につなげていく

川上 公美子 議員

**Q** 環境アセスメントの公開もないまま、井場川河口埋立「海の駅」をつくらうとしているが、自然破壊の恐れもある。現在の商店街は活性化するのか。

**A** 環境破壊に絶対につながらない。埋立地に情報プラザ、物流プラザなど予定しており商店街は活性化する。

**Q** 駅周辺事業全体の予算は50億円だが町の負担はどのくらいか。

**A** 約25億円である。

**Q** 25億円もの税金を使うのであれば、町民の意見や要望を集約する必要がある。

**A** 商店街の中心市街地活性化は、地元と協議しているので要望は網羅されていると思う。

**Q** 現在の苅田駅前には駐車場もなく、不評である。駐車場はできるのか。

**A** 確保を考えなければいけない。

**Q** 子どもによい教育環境を

**Q** 2001年3月31日付で義務教育の小学校の学級編成及び教職員配置の標準に関する法律が改定された。第4条では、学級編成を實際に行う権限は苅田町の教

育委員会が決めてよい。学級編成基準は都道府県の教育委員会、標準は国が決める。与原小学校は、6年生で39名や38名、1年生で35名のクラスがある。町が予算を組めば30人学級をもよいという標準法になっているが。

**A** 教育事務所は県の承認や許可が必要であるという返事だった。町長部局とも協議しながら今後、視野に入れて考える。

**Q** 親のリストラなどで高校中退を余儀なくされる生徒に奨学金を早急に受けられるように見直すべきだ。

**A** 今まで選考委員会で決まりを改定してきているし今後もある。

**Q** 乳幼児医療費無料の延長を  
**Q** 少子化対策のために、入学前までの医療費の無料化を実現するために、例えば3歳未満を4歳未満にする予算は。

**A** 1、500万円の増である。

**Q** 犀川町でとりくまれていくが、町長の見解は。

**A** 総合的な少子化対策を検討し、平成16年、17年度中

の実現を考えている。

**Q** 苅田港で新たに約500発の毒ガス弾が発見されたが、処理する時危険性が増すのではないか。

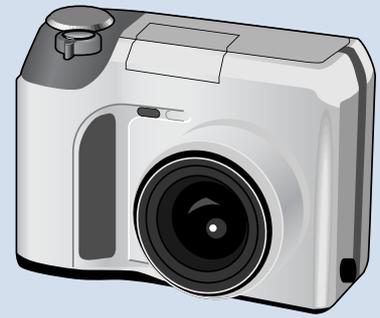
**A** 地域での空気測定、病院の体制、事故に対する処理など総合的な安全対策を国に要請している。

**Q** コミの有料化は他市町村でも減量になっていないし、不法投棄につながっている。町民のくらしも大変で、有料化は町民集会を開くべきである。

**A** 町民との協議は続ける。



# カメラ 見て歩き



## 町民文化祭

H15.11.3



## 御堂筋（大阪） パレードに参加！ （尾倉区）

H15.10.12





秋満喫祭  
H15.10.25  
(於：片島小)



# パンジーフェスタ

H15.11.9



**東西南北**  
**No.15**

**がんばれ地域のサポーター**  
**(第一回)**  
**苅田町青少年育成会連合会**

東西南北に於いては、今回から「がんばれ地域のサポーター」と題して、現在地域におけるさまざまな活動に参画し、その団体の活性化をめざして、日々地道な努力を続けながらがんばっておられる町内の各種団体取材することにし、第一回目は苅田町青少年育成会連合会取材しました。

**昔と今の「子ども会」**

苅田町青少年育成会連合会

会長 **田口朝子**

私は昭和30年代の子ども会員でした。地域の大人、青年団のお兄さん、お姉さんがいて、地域の行事を通して交流があり、「あの子は誰の子で、何番目の子」まで知っているのが一般化していました。子ども達も大人の名前と顔はよく知っていて、「泊まり合い」をし、情報も地域の中に取りました。現在は考えられない事件が多発しています。講演会で「昔の子ども会はよかったですね」と、耳にする事が多いです。昨今の社会をとりまく

「ど重要なものが育つ場」

二、異性集団「男女が一緒に活動する場」

三、異質集団「いろんな条件をもつ人達との出会いの場」

この三つがうまく機能する事で地域社会を活性化し、ふる里を愛し、家庭を愛する心が育つとされています。子ども会を育てる為には、大人の組織「育成会」と指導者組織が、うまく機能する事が必要です。育成会連合会には32団体の地区子ども会があり、衰退化している地区もありま

の問題解決は社会を築く力となります。連合会では、「遊び」ブレイリーダーを育成し、子ども達が集団で遊びを展開するように見守る事を留意しています。又ジュニアリーダーの育成にも力を入れています。地域が活性化される様にいろんな企画を展開していきたいと思っています。

問題と「ゆがみ」が続く中「生きる力」を持って育む様な体験活動の必要性が希求され、平成8年に学校週五日制が実現されました。その結果、行政主導の子ども達のイベントが各公民館で行われ、塾やサークルまで体験活動をプログラムに組み、学校では総合的学習の時間が出来、いわゆる地域から子ども集めが始まりました。なのに「子どもには地域が必要」と講演会でよく聞かれ、矛盾していると思います。子ども会には「三つの異」があります。

一、異年令集団「年の異なった同志で仲間をつくったり、遊んだりする事で、思いやり、遊びの継承な

一つですが、一番大きいのは大人も子どもも地域感が失われている様に感じます。また親の無理解も重なっています。子ども会活動はいろんな人達と関わりを持ち、社会性を身につけ、集団で



H15.6.28～29 インリーダー研修会（玄海、自然の家にて）

**あとがき**

今年も余すところ二十日間ほどで終わるつとじています。議会広報第七十七号は、平成十五年九月議会の議案内容と、一般質問及び先の町会議員選挙後に開会された、臨時議会の内容並びに新議員の紹介等を中心に編集しました。したがって、議会広報の編集についても、この第七十七号から私も七名が議会広報特別委員会の委員として、向こう二年間担当させていただきます。前委員会の改革の精神を受け継ぎ皆様方に手にとり、ご愛読頂ける議会報づくりに全員一丸となって頑張っていく決意です。どうか旧来にも倍する皆様方のご支援とご協力を委員一同心からお願い申し上げます。

N・M

**議会広報特別委員会**

委員長	光 永 信 雄
副委員長	富 安 正 直
委員	梶 原 弘 子
委員	井 上 文 男
委員	三 原 修 茂
委員	小 山 信 美